

■ グループ紹介

木村化工機株式会社

1. はじめに

弊社は創立75周年を迎え、今日まで化学プラント分野および原子力関連機器分野における様々な技術や製品によって、数々のお客様のニーズにお答えして参りました。時代と共に変化する要求やニーズに対して、迅速かつ正確に対応するために、今日までに蓄積された技術や経験をもとに、日々新しい技術開発に取り組んでおります。なかでも、地球環境上の課題である環境・リサイクル関連分野において、積極的に開発を推進しております。

顧客第一・変革への挑戦・人間尊重をモットーに価値ある技術、製品およびサービスによって、お客様のニーズと期待に応える一方、お客様と共に新技術に対する夢を追い求め、社会の発展に貢献することを基本理念としております。

本紙におきまして、環境・リサイクル関連の技術について紹介致します。

2. 現況

- (1) 資本金：10億3千万円
- (2) 従業員数：約450人
- (3) 売上高：159億円
- (4) 本社：尼崎市杭瀬寺島2-1-2
- (5) 事業内容：化学プラント、原子力関連機器等の設計・製作およびメンテナンス、環境・リサイクル関連事業

3. 開発テーマと概要

現在、弊社開発部および環境リサイクル推進室にて取り組んでいる開発テーマとその概要について説明致します。

○古紙からリサイクルボードの製造

古紙の中でも再利用の難しい雑誌類などの低級古紙を利用して、従来の木質系ボードに勝るとも劣らない「古紙リサイクルボード」の乾式製造プロセスを開発

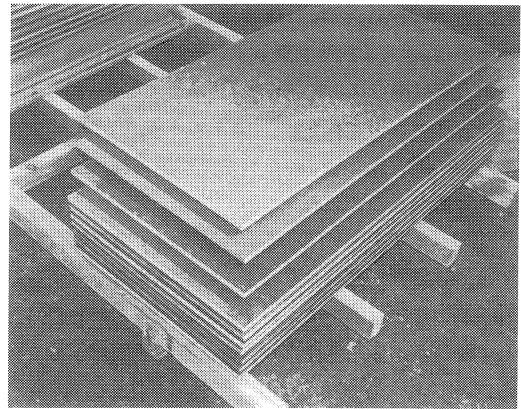


写真 古紙リサイクルボードの外観

しています。また、原料は古紙100%で、主に非ホルマリン系の接着剤を使用しているため、ホルムアルデヒドの放出量は極めて少ないものであります。

本プロセスから製造されるボードは、建材やコンクリート型枠材などが主用途ですが、適用分野は幅広く市場性の大きいものであります。現在、各方面で実証テストを実施しています。

○難分解性物質の水熱反応処理

有害有機性物質や食品工業由来の有機性廃棄物を、亜臨界もしくは超臨界流体を用いまして、分解処理あるいは有価物回収するプロセスシステムの開発を行っております。（例・魚あらからの有価物回収）

○石炭灰の有効利用

リサイクル法に指定されている石炭灰をはじめとする焼却灰を、アルカリ水熱反応によって人工ゼオライトに転換する製造プロセスの開発を行っております。

○その他

化学プラントの排熱回収技術、生ゴミのコンポスト化技術、生物脱臭処理技術、高濃縮加圧分離浮上装置、液-液抽出装置などの開発を行っています。

所在地：〒660-8567 兵庫県尼崎市杭瀬寺島2-1-2

（文責：環境リサイクル事業推進室

室長 蔭山 居志）